ICTサポータの活用事例

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-2	外国語	表現する（話す）「ショッピングをしよう」	オクリンクプラス

授業内容

英語で自分の要望を伝えながら買い物をする

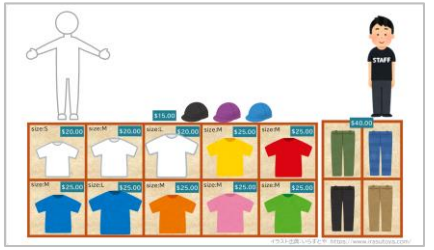
準備：

・共有コードを使用してカードを取得する。
・準備したカードをみんなのボードに送る。
・みんなのボードを子供の人数分コピーし、ボードの名称を出席番号にする。

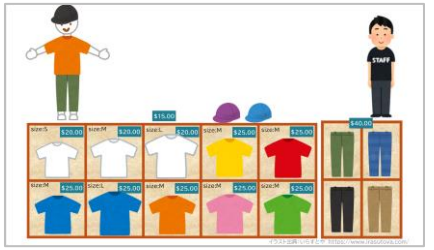
授業の流れ：

1. 買い物をするときの、店員が使う英語表現、客が使う英語表現について確認する。
2. ペアになり、店員役と客役に分かれる。店員役、客役ともに客役の子供の出席番号のボードを開き、二人でみんなのボードにあるカードを操作しながら会話する。
3. 会話を通して購入するものが決まったら、客役の子供はカード内の白い人型イラストに購入した服を着せ、完成したカードを提出BOXへ提出する。
4. 店員役と客役を交替する。客役の子供の出席番号のボードに移り、同様に取り組む。
5. 全員が客役と店員役の両方を終えたら、提出BOXの内容をクラス全体で確認する。その後、先生が数名を指名し、その服を選んだ理由を発表・共有する。

カード



取り組み例



イラスト出典：いらすとや　https://www.irasutoya.com/

サポータおすすめポイント

- ほしい商品や、おすすめされた商品のパーツを動かしたり合わせたりしながら、買い物で必要な表現を聞いたり話したりします。
- カードは複数回配付することができるので、ペアを変えて何度か取り組むこともできます。

共有コード

共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む

pb01M6MTA8HD1HFTNND11A6PGC4X